



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年3月31日

卸団地再整備に向けたインフラ等調査 結果を報告 組合員昼食会

卸団地再整備に向けたインフラ等調査結果報告会を兼ねた組合員昼食会が、2月3日(木)に開催された。問屋町会館2階大会議室で行われた昼食会には組合員ら38名が参加した。

はじめに、事務局の小田切業務部長がインフラ等調査結果について報告をした。

組合では2020年度から2カ年計画で全国卸商業団地

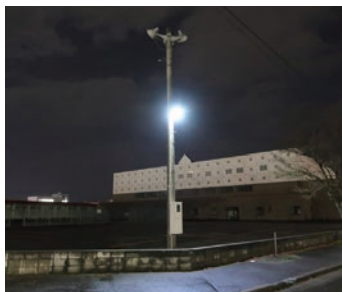


組合員昼食会 (インフラ等調査結果報告会)

①道路劣化調査では造成後50年以上経過している問屋町の車道の8割近い箇所が修繕必

要区間と判定され、今後は道路管理者である青森市に計画的なインフラ整備を要望していく。歩道劣化調査では、問屋町の歩道は平板ブロックの割れや沈下、街路樹のイチョウの生育による歩道の破損による劣化が著しい。組合内部での議論を深め、青森市と組合とのパートナーシップでの整備を目指していく。

②問屋町東口、北口、五又路、市場東口の4箇所を実施した



LED防犯灯増設で夜間照度向上



専用車両で道路劣化調査

交通量調査では、問屋町には1日当たり3万5千台を超える車両が入り出していることが判明。15年前と比較すると約3割減少していた。車両の内訳は、乗用車が8割、トラックが2割であった。

③夜間照度調査で判明した照度不足箇所には、2021年度内に組合でLED防犯灯を51基増設。設置した防犯灯は、青森市に管理を移管する。

④共同施設等劣化調査では、専門家による調査を基に長期改修計画を策定し、今後、計画的なメンテナンスを進めていく。また、耐用年数を超過した施設については費用対効果を勘案してスクラップ&ビルドも検討する。

昼食会では、組合員従業員だけが加入できる3大疾病補償保険についての紹介も行われた。



藤本専務(左)が三村知事とラジオで対談

県のラジオ番組で組合の健康取組事例紹介

2月6日(日)の午前7時からエフエム青森で放送された「申吾のほっとチャンネル」に組合の藤本専務理事がゲストとして招かれ、当組合の健康づくりへの取り組みを紹介した。

同ラジオ放送は毎月第一日曜日に放送され、三村青森県知事がコメンテーターとして出演し、その時のテーマに合わせて県内各地からゲストを迎えてトークをする。

今回のテーマは「健やかな未来のために！働き盛りの健

康づくりを応援!!」。当組合以外に、三沢市の大洋電設(株)、弘前市の北星交通(株)も出演し、独自の取組内容や始めたきっかけ、健康づくりに取り組む中で見えてきたことなどについて知事とトークした。

所属する卸団地の組合員従業員が、がん・急性心筋梗塞・脳卒中と診断され、所定の条件を満たすと、保険金(一時金)が支払われる保険サービスの取扱いが開始。説明した住友生命保険(株)の寺田室長は「近年、がんは罹患した人の4人に1人は働き世代であり、がんは働きながら治療する時代になっている。この保険は治療と仕事の両立をサポートし、掛金は団体保険のスケールメリットにより割安となっている」と加入を勧めた。

全国卸商業団地協同組合に

所属する卸団地の組合員従業員が、がん・急性心筋梗塞・脳卒中と診断され、所定の条件を満たすと、保険金(一時金)が支払われる保険サービスの取扱いが開始。説明した住友生命保険(株)の寺田室長は「近年、がんは罹患した人の4人に1人は働き世代であり、がんは働きながら治療する時代になっている。この保険は治療と仕事の両立をサポートし、掛金は団体保険のスケールメリットにより割安となっている」と加入を勧めた。

所属する卸団地の組合員従業員が、がん・急性心筋梗塞・脳卒中と診断され、所定の条件を満たすと、保険金(一時金)が支払われる保険サービスの取扱いが開始。説明した住友生命保険(株)の寺田室長は「近年、がんは罹患した人の4人に1人は働き世代であり、がんは働きながら治療する時代になっている。この保険は治療と仕事の両立をサポートし、掛金は団体保険のスケールメリットにより割安となっている」と加入を勧めた。

所属する卸団地の組合員従業員が、がん・急性心筋梗塞・脳卒中と診断され、所定の条件を満たすと、保険金(一時金)が支払われる保険サービスの取扱いが開始。説明した住友生命保険(株)の寺田室長は「近年、がんは罹患した人の4人に1人は働き世代であり、がんは働きながら治療する時代になっている。この保険は治療と仕事の両立をサポートし、掛金は団体保険のスケールメリットにより割安となっている」と加入を勧めた。

所属する卸団地の組合員従業員が、がん・急性心筋梗塞・脳卒中と診断され、所定の条件を満たすと、保険金(一時金)が支払われる保険サービスの取扱いが開始。説明した住友生命保険(株)の寺田室長は「近年、がんは罹患した人の4人に1人は働き世代であり、がんは働きながら治療する時代になっている。この保険は治療と仕事の両立をサポートし、掛金は団体保険のスケールメリットにより割安となっている」と加入を勧めた。

所属する卸団地の組合員従業員が、がん・急性心筋梗塞・脳卒中と診断され、所定の条件を満たすと、保険金(一時金)が支払われる保険サービスの取扱いが開始。説明した住友生命保険(株)の寺田室長は「近年、がんは罹患した人の4人に1人は働き世代であり、がんは働きながら治療する時代になっている。この保険は治療と仕事の両立をサポートし、掛金は団体保険のスケールメリットにより割安となっている」と加入を勧めた。

2022年度事業計画など承認 第8回理事会

2022年度事業計画などを審議する第8回理事会が2月28日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また事務局からは、除雪費の中間報告や事業計画立案アンケートの調査結果、卸商業団地機能向上支援事業などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

- 案件一・2022年度事業計画の骨子について
- 案件二・事業委員会からの意見

2022年度事業計画立案アンケート結果まとめ

組合では2022年度の事業計画立案に向け、組合員を対象にアンケート調査を実施した。調査結果は次のとおり。

組合員施設の課題については、これまで同様「老朽化対策」が最多で63社。11社が3年以内の新築や増改築等を計画していると回答した。

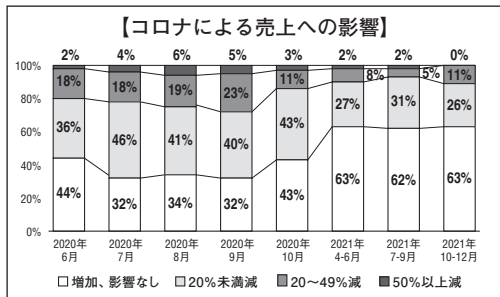
新型コロナウイルスによる影響については、前年同期と比較した売上の減少については、6割以上が影響なし、約3割が20%未満の減少と回答。今後の見込みについては、改善が6%、変化なし

11%、悪化が16%との結果となった。

見について
 案件三・環境対策委員会からの意見について
 案件四・金融事業検討特別委員会からの意見について
 案件五・団地再整備に係る組合員跡地の取得及び脱退について
 案件六・組合施設の賃貸並びに新規組合員の加入について
 案件七・2021年度第9回理事会の日程等について

経営環境の変化と中小企業の打つべき手を学ぶ

昨年引き続き、新春特別講演会が2月16日(水)に問屋町会館2階大会議室で開催



※2020年6月～10月の数値は2020年11月実施の別アンケートから流用

され、組合員従業員ら26名が参加した。
 講師は、(株)タナベ経営東北支社の日下部副支社長が務め「2022年押さえるべき経営環境と中小企業の打つべき手」をテーマに講演した。
 日下部氏はコロナによる変化した経営環境として、①観光・飲食等の需要消失、製造や物流の停滞等による品不足による需要と供給のダブルショック②テレワークやオンラインコミュニケーションの日常化によるデジタル化の加速③オンラインによる効率化(時間と距離の制限がなくなる)で人の行動変化の3つを挙げた。特にデジタル化の推進については中小企業でも必須し、貸出しを開始した。受

管理会計で現状分析 同友会 経営計画策定研修

青森問屋町経営同友会では、2月24日(木)に同会会

員を対象とした中長期経営計画策定研修を実施した。研修

の講師は(株)若山経営の若山社長と酒井部長が務め、管理会

計を用いた現状分析手法やポストコロナにおける戦略策定のポイントなどを学んだ。



同友会 経営計画策定研修



新春特別講演会で講師を務めた日下部氏

須であるとし、「やる？やらない？ではなく、どこから？何から？を検討していかなければならない」と説明した。
 また、この先の未来をどのように成長していくかについては、①若い社員も参画させて新しい感覚を取り入れ、2030年を見据えた長期ビジョンを策定する②他社にはない「自分らしさ」を定義し、顧客にとつての唯一無二の価値を明確にするOne&Only戦略の2つを紹介。「今の顧客数のままではこれ以上の売上向上は望めない。自社独自の経営資源の活用やM&A、DX(デジタルトランスフォーメーション)による分野野進出や新サービス創出等で顧客にとつて唯一無二の価値を発揮ができる事業ポートフォリオ(組み合わせ)の再構築を図らなければならない」と事例を紹介しながら詳しく解説した。

人と大地のハーモニー

ISEKI 農業機械販売

株式会社 中七本東北

青森支社
 〒030-0131 青森市問屋町2丁目11-23
 TEL 017(738)1331 FAX 017(738)8834

事務機のコンサルタント

青森精機株式会社

本社 ☎030-0131 青森市問屋町2丁目12番23号
 TEL (017) 738-2106(代表) FAX (017) 738-0856
 十和田営業所 ☎034-0092 十和田市西一番町10番27号
 TEL (0176) 22-3253(代表) FAX (0176) 24-1192(代表)

問屋町たんしん

2022年度問屋町合同清掃

- 第1回 4月14日(木)
- 第2回 5月12日(木)
- 第3回 6月9日(木)
- 第4回 7月14日(木)
- 第5回 8月4日(木)
- 第6回 9月8日(木)
- 第7回 10月13日(木)

午前8時から8時20分

問屋町内事業所の方は問屋町会館正面入口へ、第二問屋町内事業所の方は青森産業会館駐車場へ午前7時50分までにお集まりください。

当日の午前7時以降に組合ホームページや公式FacebookやTwitterに実施の有無を公開します。事前に『いいね』『フォロー』していただきますと簡単に確認できます。



組合 公式
Twitter



組合 公式
Facebook

業務報告

…主要事項…

- 2月
 - 3日▽組合員昼食会
 - 4日▽問屋町新年合同厄払い
 - 8日▽第15回景観推進管理委員会
 - 15日▽金融審査会
 - ▽第2回事業委員会
 - 16日▽新春特別講演会
 - 18日▽第3回労務対策委員会
 - 22日▽第3回環境対策委員会
 - 24日▽第3回金融事業検討特別委員会
 - ▽青森問屋町経営同友会
- 中長期経営計画策定研修
 - 25日▽第4回企画情報委員会
 - ▽県運営診断
 - 28日▽第8回理事会
- …問屋町…
 - ◆ビジネススクール：
 - 9日▽職場の問題解決力向上研修①
 - 10日▽職場の問題解決力向上研修②
 - 15日▽決算書の読み方・活かす方(損益計算書編)①
 - 17日▽決算書の読み方・活かす方(損益計算書編)②
 - 24日▽職場のメンタルヘルス対策

経済雑感

第一四回

日本銀行青森支店
支店長 森本 喜和

第61弾となる今回の経済雑感は、日本銀行青森支店の森本支店長にご寄稿いただいた。

今年も新卒採用シーズンが始まりました。

そんな中、青森商工会議所様の会報『かけはし』で「学生と企業人の本音トーク」(女子大生と若井会頭ら本音で語る)という記事を見ました。記事では5名の女子大生方が県内企業のイメージを語っておられます。少数の声とはいえ、採用活動のヒントを含んでいますので、ご紹介



日本銀行 青森支店
支店長 森本 喜和 氏

介するとともに、私なりに感じたことを記します。

女子大生方の抱く県内企業イメージの1つは、給与水準が首都圏の企業に比べて低いことです。これ自体は否定できません。ただ、「給与水準が低い＝生活水準が低い」ではありません。給与水準が低くても、生活費が安ければ、豊かな生活を送れる可能性があるからで

す。実際、青森県を含む地方の多くは、首都圏に比べて平均的な給与水準は低いものの、生活費も安いので、生活水準で見れば、給与水準ほどの差はないと言えます(内閣府の「地域の経済2020-2021」にはこ

とによれば、当県のテレワーク実施率は全国の中で最も低い部類です。これにはテレワークに馴染まない産業(農林水産業、建設業など)の割合が大きいことも影響しているでしょう。ただ、その他の業種では、工夫次

2つ目は、テレワークの浸透の遅れなど、働き方が社会情勢の変化に十分対応できていないことです。実際、各種のアンケート

3つ目は、男女の機会均等や仕事と家庭の両立支援に対する企業の取り組みについて十分な情報入手できていないと感じています。首都圏等の潜在的なUTターン者にも認知してもらうには、ホームページ等を通じて細かい情報発信やオンラインでの会社説明会などが重要になると思います。(つづく)

未来をネットワークする
JAC www.jacopen.co.jp

ホームページ作成やサーバの運用管理は
弊社データセンターにお任せください。

株式会社 青森共同計算センター

〒030-0113 青森市第二問屋町3-10-26
電話 017-771-1111 FAX 017-771-1123

／明／日／の／設／備／を／考／え／る／

パッキン一枚からウォシュレット取付
TOTO和洋リモデル工法、アフターメンテナンスまで
当社へご相談ください

株式会社ムラバヤシ

〒030-0131 青森県青森市問屋町一丁目8番27号
TEL (017) 738-4165 FAX (017) 738-1852

境建材株式会社

〒030-0131 青森市問屋町一丁目14番1号

本社 ☎(017)764-5581 F A X (017)728-7275
工事部 ☎(017)764-5585 左官材料・タイル専門 ☎(017)728-7266

商 事 部	新建材	全般木	タイル	工器具
	銘瓦	官材	左官	材料
工 事 部	内装	外装	防水	工事
	タイル	住宅	工務	工事

Coca-Cola Michinoku
Coca-Cola Bottling

本社
岩手県盛岡市中央通一丁目7番25号 TEL 019-613-6665(代)

青森営業部
青森県青森市第二問屋町三丁目4番12号 TEL 017-739-3511

問屋町SDGs宣言企業募集

組合では、2021年度をSDGs元年と位置づけ、様々な取り組みに着手した。その一環として、「問屋町SDGs宣言制度」を新設し、これまで22社の組合員が宣言した。(宣言企業一覧は後記) 同制度は組合員がSDGs達成のために「現在取り組んでいること」や「これから取り組むこと」(1年以内)を宣言してもらい、宣言書を社内に掲示するもの。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、(株)ヤブシタエンジニアリングの(株)外崎社長にお話を伺った。同社は、(株)ヤブシタのグループ企業として平成25年3月に青森市で設立し、10年目を迎える。給排水・衛生・冷暖房・空気調和等の設備全般にわたる工事を東北全域で行う企業で地域に無くてはならない存在を目指している。

負荷の少ない非プラスチック商品の販売促進に取り組みます」「カーボンニュートラル社会の実現に向けてPHEV車両の普及啓蒙に努めます」など、本業を通じた取り組みに加え、「定期健康診断を全従業員に受診させます」「節電・節水を心がけます」「会社から出るごみのリサイクル分別を徹底します」「従業員研修を実施します」「働き方改革に取り組みます」など、日頃の自社の取り組みがSDGs17のゴール達成に向けた取り組みとして該当することも多くあった。

問屋町SDGs宣言企業は組合ホームページ内のSDGs特設ページで紹介しております。各企業の宣言内容も確認できる。宣言企業は常時募集中で、「何を宣言すればいいかわからない」「どのゴールに結びつかかわからない」など、事務局(☎73814711 担当・西田)まで気軽に問い合わせください。

芝電材マーケティング(株) 橋本総業(株) ⑩(株)ムラバヤシ ⑪エイ・スイーサーサービス(株) ⑫青森共同計算センター ⑬生活協同組合コープあおも ⑭青森三菱自動車販売(株) ⑮正善商事(株) ⑯(株)仲和産業

宣言企業には宣言書贈呈



(株)ヤブシタエンジニアリング 代表取締役 外崎 匡洋氏

り、会社でスケジュールを管理することで、講習会への参加や仕事のスケジュール調整もしやすくなります。資格は社員にとっても会社にとっても財産になりレベルアップにも繋がると思っていますので、積極的に取得できる仕組みを作っています。また社員の要望を優先的に聞くなど、社員の喜ぶことが私のモチベーションになっています。今後は社員が働きやすい環境を作っていきたいです」と語る。

「初めは大企業が多いイメージでしたが、実際には様々な企業が営業しており良い場所に移転できたと思っています。倉庫や

駐車場も広くなり社員も喜んでいきます」と笑う。 プライベートについては「趣味はゴルフで始めて4年目になります。ラウンドすると隣のコースに私のボールが行ってしまったりするので、迷惑をかけないように練習しています。他には父が絵を描くこともあり絵画が好きです。会社の応接室に父の作品を飾っています。お客様にも見て楽しんでもらえたら嬉し

3月下旬。さしもの問屋町の豪雪も歩道に残るばかりとなり、いつもなら明るい気持ちになる季節ですが、が▼未だ完全取束をみせないコロナ禍中、2月24日、核保有大国ロシアがウクライナに侵攻するという驚天動地の事態が起こりました▼3月16日、東北新幹線が不通となる福島県沖地震がまた起きました。福島卸商団地では大変な地震被害を受けられたとのこと。心よりお見舞い申し上げます▼ストレスフルな想定外のことが多すぎます。このたびの組合の「卸団地再整備に向けたインフラ等調査」は、インフラに関する課題をできるだけ想定内に取り込む試みだったとも思っています▼転話題。(株)タナベ経営の日下部東北副支社長特別講演会(演題:二〇二二年押さえるべき経営環境と中小企業の打つべき手)の続きです▼講演では、二〇二二年中小企業の打つべき手・事業戦略のコンセプトは「顧客にとって唯一無二の価値発揮が得意な事業ポートフォリオ(組み合わせ)への再構築」であると指摘。それは①複数事業の組み合わせでシナジー効果を得ること②より大きな付加価値を創造して成長していく戦略が「事業ポートフォリオ戦略」だとしています▼その事例として①トマトの会社から、野菜の会社に、転換したカゴメ(株)の垂直統合型事例②建築資材の卸業者が工事業者を買収し、施工まで行い収益性向上をしたM&A戦略事例③機械の製造業者がオンライン修理サービスを開始したDX戦略事例④地元の良さをストーリー化して成功したブランディング戦略事例などです(藤本)

編集後記

未来に繋ぐ 人をつくり、設備をつくる 空気調和・換気・給排水・衛生・消火等



株式会社 ヤブシタエンジニアリング

〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目3-18 tel/017-763-5345 fax/017-763-5346 URL / https://www.yabushita-e.co.jp



ヤブシタ オンライン ショップ Sold Out by LINE



ヤブシタ エンジニアリング が配信する! YouTube チャンネル



あおもり e-Recommend 青森のおすすぬめご紹介!